

労働に関するCSR推進研究会 論点（案）

【 情報開示項目・自主点検用チェックリスト指標に共通する事項 】

- ◆ 労働のCSRを推進するためには、情報開示項目を提示したり、企業による自主点検用チェック指標を作成したりすることが有益と考えられる。これらに取り組むに当たり、以下のそれぞれの点についてどう考えるか。
 - ① 最低限の法令遵守のみを念頭に置くか、それとも、法令遵守のみならず、（法令遵守を超えた）法令の精神に即した行動や、法令に規定されてはいないが社会のためになる行動をも考慮するか。
 - ② CSRをとりまく状況について海外に目を向けると、国際化の進展に伴い、企業は海外進出先において現地従業員等に対し、責任ある行動をとることが求められている。一方、国内に目を向けると、競争の激化等によって長時間労働が増大するなど、労働者の働き方が持続可能なものとなっているか否か懸念される状況がみられる。海外・国内いずれの動向を重視するのが適当か。
- ◆ 加えて、方針や仕組みに関わるマネジメント面の質問項目と、実績に関わるパフォーマンス面の質問項目とのバランスについてどう考えるか。また、大企業と中小企業のいずれを中心に念頭に置くのが適当か。
- ◆ 労働に関する情報開示や、自主点検用チェック指標の項目については、昨年6月の「中間報告書」を踏まえると、（少なくとも）以下の事項が含まれるのではないか。他に、重要な事項はないか。
 - ・ 人材育成、キャリア形成支援
 - ・ 職業生活と家庭生活・地域生活との両立
 - ・ 女性労働者の能力発揮